

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ダイナスター II	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.460	△RG	0.058	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ダイナスター 2

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

4 インチ

番

研磨剤

比較対照ボール：ダイナスター

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

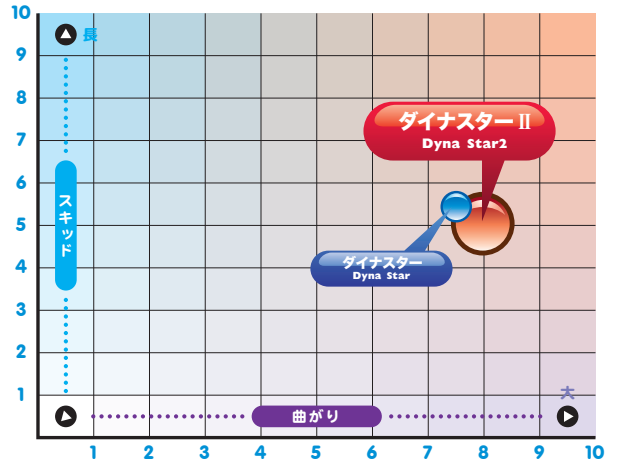
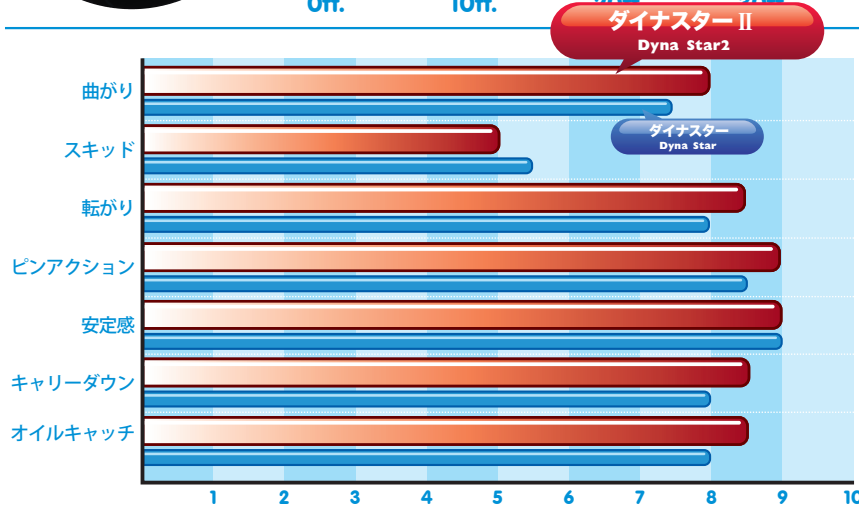
4 インチ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション

バックエンドリアクション

レンジス

Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

USエポナイト工場を起点とした、日本完全監修によるオリジナルブランドの設立。第一弾のDyna StarはUSエポナイト工場5社のノウハウを注ぎ込んだ禁断のスペックで業界を震撼させました。今回リリースするDyna Star2はDyna Starをよりオイリー向けに仕上げたバージョンアップ版で、表面加工までチューンナップ出来るよう#2000アブラロンパッドを付けての発売です。仕様はDyna StarのMS-2.0カバーをよりオイリーなコンディションで粘り強いキャッチを魅せる、日本オリジナルブランドのMS-2.0Plusカバーストックを抽出。AG-1Plusコアは比重変更により、RG:2.46、△RG:0.052、IntDiff0.028を誇る”転がり、ネジれる”ユニットに生まれ変わり、心臓部に収めてあります。

Dyna Starでは得られなかったミッドエリアでのキャッチ感がオイルに対しての安定感となり、減速とは無縁の鋭い切れさを感じるバックエンドモーションはAG-1Plusコアの性能を十二分に発揮できるカバーとの相性は抜群。ピンアクションも低く、柔らかく仕上げましたので、きっと満足していただけるでしょう。箱出しの状態では#500、#1000、#1000ファクトリーポリッシュですが、投球後リアクション調整を行えるよう今回#2000アブラロンパッドを付属させました。私のおススメはレイアウト前に#2000アブラロンで加工し、やや抑え気味のレイアウトを施しドリルすることで、オイリーからミディアムまでをDyna StarとDyna Star2との双方に委ねる事ができること。良いと思う性能のボールは領域の差を作ることに対応幅も広がり、自信を持ってラインに向くことができるでしょう。

初代Dyna Starは好評につき再販しましたが短期間で完売致しました。このDyna Star2もきっと完売まではそう長い期間はないでしょう。なくなる前にショップで予約してください。

特記事項

日本完全監修オリジナルブランド第2弾。Dyna Starをオイリー向けに仕上げたスペックは、完全監修だからこその拘りが随所に光ります。Dyna Starが使われた方もそうでない方も是非使用して頂きたい逸品です。